

## 農地を守り活用するための連携協定を締結 ～農地を守る関係4団体～

7割を占める中山間地、著しい農業者の高齢化、増加の一途をたどる耕作放棄地など府の農業農村の状況は年々厳しさを増し、地域からは将来を不安視する声も少なくありません。そのような中、当機構（[京都府農業総合支援センター](#)）は、農業・農村整備を支援する[京都府土地改良事業団体連合会](#)、農地の維持・保全活動を推進する[京都府農地・水・環境保全向上対策協議会](#)及び耕作放棄地対策を支援する[京都府担い手育成総合支援協議会](#)と“農地を守り活用するための連携協定”を締結しました。今後、本協定に基づき、積極的な情報交換、事業広報の相互協力、地域の話し合い活動の共同推進、地域資源保全管理構想と京力農場プランの作成促進、[農業・農村整備事業](#)と農地中間管理事業の連携推進などの取組みによって、担い手への農地の集積や農道・水路の維持管理をはじめとして京都府の農地を守る取り組みを強化していきます。



京都府農地・水・環境保全向上対策協議会臨時総会で連携の重要性について説明する小田理事長

## 農地集積コーディネーター研修会を開催 ～福知山市・京都市内の2会場～

8月31日と9月6日の両日、「平成28年度農地中間管理事業コーディネーター等研修会」を開催しました。対象は、農地集積コーディネーター、市町村担当者、振興局担当者、農地集積仕掛人。まず、川崎事務局次長から、今年度の取組方針及び推進体制、農地集積コーディネーター、農地集積仕掛人の役割についての説明があり、続いて原田農地中間管理事業推進室長が、事業周知等具体的なコーディネーター等の活動について、詳しく説明しました。また、今回は[\(株\)日本政策金融公庫](#)京都支店の小村課長にも出席いただき、[担い手の経営の効率化・規模拡大等に活用可能な資金](#)について説明いただきました。研修会終了後も中間管理事業が活発に行われている地域では、個々の取組みについて情報交換や意見交換が行われました。

## 京力農場プランで地域農業の将来を考える ～舞鶴市小俣地域～

舞鶴市小俣地域の農業の将来を考える一助としていただくため、8月23日、小俣集会所で舞鶴市主催の「京力農場プラン」説明会が開催されました。同地区は舞鶴市の加佐地区の西端にある農家数20戸ほどの小さな集落で、高齢化が進むとともに獣害も著しく、何とかして地域の農地・農業を守っていかないとけないという住民の思いから説明会がもたれたものです。参加者からは、舞鶴市によるプランやその関連施策、農地中間管理事業についての説明を聞き、「今の担い手組織が農地中間管理事業から農地を借り受けることになるのか」「地域集積協力金を受ける場合の条件はどうなるのか」といった質疑がありました。地域としては、今回の説明会をきっかけとして、地域の農地を守ることを目的にプランの作成に向けて話し合いを続けていくこととされました。当機構中丹地域担当の荒田現地駐在員も話し合いに参加し、プランの策定に向け、今後も引き続き地域を支援していきます。



話し合いの風景 手前は荒田駐在員

## ☆参入企業の真剣な取組み紹介④☆

～阿部農地利用推進員レポート～

実りの秋の先駆けに、大型機械による一気に収穫・出荷、取引先へ納入と、常に時間の有効活用と効率化を図る株式会社上野青果(松井 隆光社長)、高橋圃場責任者は、その勢いを加速させ、亀岡市を中心に農業事業に邁進されています。取引先にこだわりの作物を安定供給するために、地元代々のノウハウは全て教科書と捉え、最適技術導入とマンパワーで地元貢献にも力を注ぎ、農地情報は中間管理機構に期待を寄せ、借受の準備態勢も万全です。

「京都府内の遊休農地は、上野青果が耕作する」の意気込みで農業事業の更なる飛躍と、京都の農業活性に一石を投じる気概で、上野青果は挑み続けています。



(写真上：技術が物語る圧巻の白菜畑、下：年中フル活動の大型トラクター)

## ☆地域集積協力金を活用した事例紹介③☆ ～下東地域（舞鶴市）～

農地中間管理事業により地域の農地面積の2割以上を集積した場合は、地域集積協力金が地域に交付されます。この交付金を使って農道や水路を補修するなど地域の農業振興のために有効活用された事例をご紹介します。

今回は、安寿姫をまつる祠がある伝説の地、舞鶴市下東地域です。同地域は、由良川河畔にあるため、昔から水害に見舞われる一方で水の確保には苦勞されてきました。このため、平成27年に自治会区長を委員長に農事組合長、下東営農組合（当時）、多面的機能支払委員などで構成する下東京力農場づくり委員会を立ち上げ、集落の農業の将来について話し合いを重ね、同年10月にプランが完成しました。翌年1月には、中核的担い手となる農業法人、(株)下東農産を設立し、地域の農地16haのうち、9ha余を担い手に集積し、地域集積協力金の交付を受けました。下東地域では、この協力金と舞鶴市からの補助金を資金に、地下水をくみ上げ用水として圧送するポンプ設備を整備しました。(株)下東農産取締役でもある岩見さんに伺ったところ、安定した用水確保がかなったことで、安心して稲作ができるようになったとのこと。今後は、女性による万願寺甘とうのハウス栽培や地域の特産品である「安寿そば」の販路拡大などで住民が夢を持って暮らしていける地域づくりに繋がりたいと熱く語っておられました。



左) 新設したポンプ設備と岩見さん 右) J A 彩菜館で販売される安寿そば

## ✿イベントガイド✿

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
10月11日(火)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
10月20日(木)	山城地域就農相談日	府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター 山城南農業改良普及センター
<p>◆ある程度の就農準備ができている方を相談対象として想定しております。</p> <p>◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので、御了承ください。</p>			

京都府農地中間管理機構では、平成28年4月から「FarmBankNews」を発行し、農地中間管理事業を中心とした様々な情報をお届けします。